

平成 28 年度 事業報告

I 概 況

平成 28 年度の我が国経済をみると、アベノミクスの取り組みの下、金融政策、財政政策により雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続いた。政府は、成長戦略である新 3 本の矢を柱に「未来への投資を実現する経済対策」を取りまとめた。28 年度は米国トランプ大統領の当選、国内では小池都知事の就任と変化に富んだ 1 年であった。また、北朝鮮による脅威も現実化しようとしている不安定要素もある。

国内の物価の動向をみると、原油価格等の下落の影響等により、消費者物価は対前年 0% と横ばい。一方、株価は 3 月に 19,000 円台、為替レートも 1 ドル 110 円前後とトランプ現象もあり多少勢いがついた。結果、平成 28 年度の実質 GDP は 1.3% 程度、名目 GDP は 1.5% 程度と見込まれる。雇用者数は増加し、完全失業率も 2.8% と改善されている。

しかし、日銀のマイナス金利の効果は薄く、中小企業者にとっては、収益性の悪化、設備投資の鈍化、取引条件も厳しさを増し、事業所数も減少が続いている中で、地方創生、人手不足の深刻化、働き方改革の提唱、ワークライフ・バランスの推進が叫ばれているが中小企業の成長と地域の経済活性化につなげることはできていない。

また東京では、“都民ファースト”のスローガンの下、小池都知事の改革が進んでいる。2020 年へ向けた「東京都長期ビジョン」をはじめ、中小企業への支援策も拡充しようとしている。印刷業界では永年の要望であった印刷物入札の最低制限価格制度が、都財務局で試行の形ではあるが開始されたことは大きな前進であった。

東京グラフィックスは、菅野新会長の下キャッチフレーズを「いいね！東グラ。熱い絆」、スローガンは「互いに声掛け、共に学び、皆で楽しむ」とし、スタートした。事業面では具体的に、都民への印刷サービス提供を念頭に、個人情報保護を公益目的の第一に掲げ、会員企業の経営を真剣に考える機会を増やし、顧客をはじめ他業種とも協調しながら個々の会員企業では成しえない印刷サービスの強化を模索した。

- 一、認定個人情報保護団体の活動では、セミナーの開催（参加者 70 名）、漏えい事故対応、苦情受付、情報セキュリティの強化、改正個人情報保護法対応、マイナンバーへの啓発を行った。プライバシーマーク制度の推奨については、新規取得の動きもあり、更新も順調に推移し、会員内のプライバシーマーク取得企業は 90 社となる。
- 二、「ビジネスアイデアコンテスト 2016」を実施し、会員から寄せられたアイデア 50 余点の中から㈱東京プリント・大塚ヒロ子氏の「成長するゴミの分別お助けアプリ」が第 1 位となり、東京都知事賞、2 位には㈱イナミツ印刷・稲満信祐氏の「くつまる」が東京都産業労働局長賞を授与された。他に新市場創造、新商材の開発、観光ビジネスのモデルコンテンツの準備、東京オリンピック・パラリンピックへ向けた企画、また前年度ビジネスアイデアコンテストで都知事賞を獲得した「SUMIMASEN カード&マップ」は会員有志により商品化もメドが立った。その他自主研究会活動などを通じて推進した。
- 三、教育事業は、各支部と連携したセミナーをはじめ様々なテーマで各種研修会（7 回受講 195 人）を開催した。技術面では、前年度に作成した「印刷読本 PART II」を利用した印刷徹底講座を実施した。
- 四、「ワークライフ・バランス事業」では、前年度を引き継ぎ女性の活躍推進、高齢者の活用、若者の積極的採用と定着をアピールし、1 月にセミナーを開催し、3 月には東京都の広報紙に当会の動きが掲載された。

五. BCP 活動推進では、セミナーの開催と首都水害対応の見学会と機関誌による情報提供を行った。
六. 環境経営の推進としては、日印産連グリーンプリンティング認定、環境優良工場表彰への対応等を図った。

他に、青年部 FACE が独自の活動を展開した。

組織面では 13 社の新入会員を迎えたが、18 社退会と退潮傾向に歯止めはかからず 311 社となった。そこで、2 月から組織の維持・強化を緊急かつ重要な課題として「危機突破・組織拡大プロジェクト（仮称）」を支部を横断する形で立ち上げ、来期へ向けた活動を準備している。なお、財政面では、会員減少はあったがプライバシーマークの収入が予想を上回り、支出の抑制も図り黒字決算となった。

事務局機能については、個人情報保護活動に加え、会員ニーズに応え合理化に努め情報提供、委員会活動の充実に努め、会員サービスに引き続き努力した。

東京グラフィックスでは以上のように厳しい状況で推移したが、事業計画に掲げた計画は概ね遂行し、当期を終えることができた。以下、事業毎に報告する。

II 事業報告

1. 都民へのグラフィックサービス技術の提供及び啓発行為

①都民へのグラフィックサービス技術の提供及び啓発行為

(1) 都民向け各種印刷・自費出版等に関する相談・問い合わせ受付業務

事務局にて、各種印刷や自費出版等に関連する相談業務にあたった。

(2) 都民向け広報・PR 活動

総務委員会は、東京グラフィックスのホームページおよび機関誌「東京グラフィックス」により、都民への印刷技術の普及啓発および情報発信について広く公開した。

また、各行政区レベルの産業展等（中央区「へそ展」、文京区「ぶんぱく」など）における“印刷”の普及啓発活動への協力・情報発信を行った。

2. 個人情報保護の推進及び都民からの苦情・相談事業〔公益認定事業〕

①認定個人情報保護団体の活動

(1) 認定個人情報保護団体としての活動

個人情報保護法に基づく認定個人情報保護団体として、都民・消費者と会員企業間での個人情報に関する苦情・相談を受け付け、解決へ向けた活動を行った。窓口として担当理事、個人情報保護委員会および事務局が、経済産業省、東京都、(一財)日本情報経済社会推進協会と協議しながら解決にあたるが、今期は相談事案（5 件＝内容：マイナンバー対応、顧客からのセキュリティー強化要望への対応、改正法対応等）、事故対応 2 件、苦情受付はなかった。

今期は、個人情報保護法の大幅な改訂（平成 29 年 5 月）を前に、国の個人情報保護委員会から改正法対応の 4 ガイドラインが公表され、その準備をはじめ個人情報保護をめぐる大きな変化が起きた。そこでジャグラとの共同出版で平成 29 年 2 月に「個人情報保護ガイドブック（第 5 版）」を制作、2 月 23 日には個人情報保護セミナーを開催し、周知に努めた。

認定個人情報保護団体としては、5 月の法改正に伴い、個人情報保護指針の策定が義務付けられており、その準備に入った。個人情報保護委員会が主催する法改正に伴う説明会（2 回）に参加した。

加えて番号法（マイナンバー制度）の実運用が始まったことから、注意喚起も行った。
他に、プライバシーマーク新規取得に関する相談が5社あった。

■認定個人情報保護セミナー

- ・2月23日/スペース馬喰町会議室/参加70人
- ・テーマ：『個人情報保護法』全面改正等について～改正法解説と個人情報保護ガイドライン及び安全管理等～
- ・講師：清水良二弁護士（ジャグラー・プライバシーマーク審査会長）、斎藤成専務理事

■情報提供

- ・機関誌「東京グラフィックス」28年4月号～29年2月号
- ・タイトル：リスクマネジメントと個人情報保護・BCP
- ・内容：4月号：日産産連：ミッション・ステートメントを読み解く。5月号：IPA「情報セキュリティ10大脅威2016」6月号：サイバーセキュリティ。経営ガイドライン。7月号：パスワードとウェブサイトのセキュリティ対策。8月号：マイナンバー対策再考。9月号：世界的潮流になるプライバシー・バイ・デザイン。11月号：リスクと機会。12月号：中小企業のサイバー攻撃への対応。1月号：法改正に伴い遵守すべき項目－ガイドライン通則編①。2月号：法改正に伴う安全管理処置－ガイドライン通則編②。（執筆はいずれも斎藤成 東京グラフィックス専務理事）

(2) プライバシーマーク審査業務活動

プライバシーマーク指定審査機関はジャグラーへ移行しているが、プライバシーマーク制度の普及のために、当会会員への審査業務活動は継続した。

3. グラフィックサービス業に関する雇用の安定及び人材の育成事業

①雇用の安定

(1) ワークライフ・バランス推進事業

平成26年10月より、1年半にわたり東京都課題解決型雇用環境整備事業の補助金事業として活動を進めてきた。今期は、①女性の活躍推進、②高齢者の活用、③若者の採用・職場定着、④業務改善について助成金紹介等、その周知に努めた。

また東京都によるPRに協力した。他に情報提供として、3月に東京都の「課題解決型雇用環境整備事業」（3月発行）取組事例集を会員へ配布した。またこの内容抜粋が日本経済新聞（3月17日号、21日号）に掲載された。

■「女性・高齢者いきいき活躍セミナー～女性のコア人材育成、高齢者が生き生き働くために」

- ・1月17日/ニッケイビル（東京都中小企業団体中央会補助金事業）
- ・講師：新田香織氏（特定社労士）、三宮幸一氏（㈱マイスター60取締役社長）

(2) 都民のグラフィックサービス業への就業支援及び会員企業の新規採用支援

東京都立職業能力開発センター、東京障害者職業能力開発校等からの求職者情報や合同面接会などの告知を、会員企業に周知した。

②人材の育成事業（所管：教育・技術委員会）

(1) 各種セミナー（技術、経営、マネジメント、営業、労務、その他）の企画・運営

教育委員会は、会員企業および一般都民を対象に、さまざまなテーマでセミナーを企画・運営した。当期は7タイトル開催し、延べ196人が参加した。（会場はいずれもニッケイビル）

■「知っておきたい特殊印刷・加工⑨ 上製本・特殊製本」

- ・5月25日／受講49人／新宿支部 主催
- ・講師：渡邊博之氏（㈱博勝堂・代表取締役）

■「歩き方と座り姿勢」

- ・6月8日／受講20人／教育委員会 主催
- ・講師：篠田洋江氏（㈱Cowalking・代表）

■「パネルディスカッション“新規開拓作戦会議”」

- ・7月28日／受講46人／教育委員会 主催
- ・パネリスト：笹岡誠氏（㈲ドゥ・プラン）、川井信良氏（㈱文伸）、彼谷佳彦氏（㈱研美社）、武川優氏（㈱緑陽社）、谷口美保氏（㈱アイト）、落合信一氏（㈲プロテックス＝コーディネーター）

■「経営者・リーダーのためのアンガーマネジメント」

- ・9月29日／受講27人／千代田支部 主催
- ・講師：桑原和弘氏（㈱フリスコ・代表取締役）

■「知っておきたい特殊印刷・加工⑩ 手揚げ袋」

- ・10月18日／受講21人／文京支部 主催
- ・講師：前田知伸氏（福井紙業㈱・専務取締役）

■「決定版！今さら聞けない補助金活用の秘訣」

- ・12月7日／受講15人／教育委員会・社長講座 共催
- ・講師：岩永武大氏（㈱GIMS・パートナーコンサルタント）

■「これだけは知っておきたいメディアユニバーサルデザイン」

- ・1月25日／受講18人／教育委員会・マーケティング委員会 共催
- ・講師：阿部浩之氏（NPO 法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会・理事）

(2) 東京都立中央・城北職業能力開発センターの向上訓練への参画

教育・技術事業は、東京都立中央・城北職業能力開発センターと協働して、会員企業の従業者向けにプリプレス～印刷の技術習得・向上を目的とした講習会を開催した。

■「フレッシュマンステップアップ講座」

- ・6月16日、21日、24日、28日、30日、7月5日／中央・城北職業能力開発センター／受講8人
- ・講師：田中信一氏（㈱ビジネスコミュニケーション研究所・代表取締役）、他 東京都講師

■「DTP・印刷実践講座」

- ・2月1日、3日、8日、10日、15日、17日／中央・城北職業能力開発センター／受講13人
- ・講師：東京都講師・指導員

また、同センターと、当会・東京都印刷工業組合・東京グラフィックコミュニケーションズ工業組合の3団体の協働で、技術講習会（オーダーメイド講習）を開催したほか、同センターの各種キャリアアップ講習の周知・参加呼びかけを行った。

(3) 「印刷読本 PATR II」を活用した講習会の開催

技術委員会は、平成26年度に東京都中小企業団体中央会助成金事業を活用して発行した「印刷読本 part2」をベースに、講習会「印刷徹底講座」シリーズの企画、運営を行った。なお同講座は前期に2シリーズを開講している。講師は、主に「印刷読本 part2」の執筆者が務めた。

■印刷徹底講座「MIS（経営情報）セミナー」

- ・7月12日／ニッケイビル／参加20人
- ・講師：原田勇氏（誠伸商事㈱）

■印刷徹底講座「印刷デザインの要素とこれからのデザインセミナー」

- ・10月13日／ニッケイビル／参加20人
- ・講師：氏家和彦氏（サレジオ工業高等専門学校 准教授）、李盛姫氏（同）

■印刷徹底講座「フルデジタルによる自動化ライン構築セミナー」

- ・11月29日／六本木ティーキューブ／参加10人
- ・講師：荻野賢氏（富士ゼロックス㈱）

■印刷徹底講座「JDF活用セミナー」

- ・3月2日／キャノンSタワー／参加30人
- ・講師：渡邊健一氏・河野由維氏（キャノンマーケティングジャパン㈱）

(4) キャリア形成促進助成事業「OJT付き訓練」への協力

日本プリンティングアカデミーと連携して、新卒者や未経験労働者に対するキャリア形成促進助成事業「OJT付き訓練」に協力した。今期の会員企業の「OJT付き訓練」への参加は2社14名だった。なお、訓練カリキュラム（off-JT, OJT）の内容は当会が策定したものに準拠された。

4. グラフィックサービス業に関する公害防止、資源リサイクル等の調査研究事業

①公害防止、資源リサイクル等の調査研究事業

(1) 「グリーンプリンティング」の啓発・推進

CSR事業は、環境保全・公害防止、資源リサイクル等の推進についてジャグラと合同で、事業を推進した。環境保全・公害防止、資源リサイクルのため、グリーン購入法に基づく日印産連・オフセット印刷ガイドライン、PRTR法を含む各環境関連法令、東京都環境確保条例等の情報を、会員企業に紹介・周知し、遵守を促した。また、日印産連の環境優良工場表彰制度やグリーンプリンティング認証制度の普及と認証取得向上に向けて活動した。日印産連では、9月14日に開催された「印刷の月」式典において、「くまもん」の生みの親である小山薫堂氏にグリーンプリンティングPR大使に就任してもらうなど、同制度のPRに努めている。

12月9日（金）に東京ビッグサイトで開催された「エコプロ2016」に委員有志で見学した。同見学を踏まえ見学した委員からのレポートをまとめ、機関誌3月号に掲載した。

5. その他、この法人の目的を達成するために必要な関連事業

①「ビジネスアイデアコンテスト2016」の実施

総務委員会は、「ビジネスアイデアコンテスト2016」（BIC）を企画・運営した。応募アイデアは印刷業界とは関連のないジャンルも対象にした。会員企業、一般都民、法人、都内学生を対象に作品募集を開始し、合計50点の応募があった。

募集期間中の11月24日（木）に応募促進の一環として「ビジネスアイデアセミナー」を開催した。テーマは「“買いたい”ビジネスアイデアの作り方」（講師：高橋晋平氏）。参加者30人。

BICの審査は外部有識者で構成する審査会が担当し、書類による一次審査・二次審査を経て、入選10点が選出された。2月24日（水）にニッケイビルにおいて、入選者によるプレゼンテーション大会が開催され、同日に最終審査会を行った。プレゼン内容も勘案し、第1位「東京都知事賞」、第2位「東京都産業労働局長賞」、第3位「東京グラフィックス会長賞」以下、入賞5作品を選出した。審査結果は3月1日付でプレスリリースした。

■入賞作品

- ・東京都知事賞（最優秀賞）「このゴミ、いつ捨てられるの？ 成長するゴミの分別お助けアプリ」
（株）東京プリント／大塚 ヒロ子氏
- ・東京都産業労働局長賞（第2位）「くつのまるごとサービス・くつまる」
（株）イナミツ印刷／稲満 信祐氏
- ・東京グラフィックス会長賞（第3位）「楽しく登ろう 登山シミュレーションアプリ」
倉敷印刷（株）／和賀山 新太郎氏
- ・審査員特別賞「VR 退院体験」
（株）エフ・アイ・エス／朝香 貴裕氏
- ・審査員特別賞「ドリームベースボール」
日本プリンティングアカデミー／田中 大稔氏

■審査委員会

- ・審査委員長：日本プリンティングアカデミー学校長／猪股康之先生
- ・副審査委員長：アイデア・コークリエイター、（株）ウサギ 代表取締役／高橋晋平先生
- ・審査委員：東京都産業労働局商工部経営支援課
- ・審査委員：公益社団法人東京グラフィックサービス工業会会長／菅野 潔会長

②情報・文化の向上に資する事業

(1) 「出版」事業の研究

今期は行わなかった。

(2) 「障害者差別解消法」に対応する印刷物および関連サービスの研究

教育委員会とマーケティング委員会の共催で、印刷物・Web・サイン等におけるユニバーサルデザインについて、会員・一般市民向けに「メディアユニバーサルデザイン」をテーマにセミナーを開催した（3号事業②-(1)参照）。

(3) 「2020年」に向けたグラフィックサービスとしての社会貢献の研究

今期は行わなかった。

③BCP 関連事業

(1) 業界としての事業継続計画の策定

10月12日に発生した都内大停電を受けて、委員会は会員緊急アンケートを実施、被害状況の把握に努めた。回答は80件にのぼった。アンケートについては、結果を分析し機関誌上で公表した。

11月4日（金）に埼玉県春日部市にある防災施設「首都圏外郭放水路見学会」を実施した。参加者5人。見学のレポートは、機関誌12月号に掲載した。

(2) BCP 策定の支援・普及・啓発

平成28年9月27日（火）に「BCP ミニセミナー」を開催した。講師は増田光仁委員長が担当した。参加者10人。

④マーケティング（販路開拓）事業

(1) グラフィックサービスの販路・市場開拓の研究

◎BIC 優秀アイデアの具現化支援

前年度ビジネスアイデアコンテストで都知事賞を獲得した「SUMIMASEN カード&マップ」は会員有志がグループを立ち上げ、東京都中小企業団体中央会の平成28年度団体向け課題解決プロジェクト

支援事業に認定され、商品化に着手した。また、NHKの報道番組や新聞各紙にも取り上げられた。

◎市場開拓自主研究会の支援

会員企業有志等のグループ「市場開拓自主研究会」の活動を支援した。同研究会の活動は後述。

◎その他

総務委員会では、会員企業の店頭掲示用の「年賀状受注」「謹賀新年ポスター」を制作、配布した。

⑤組織の維持・運営と強化

(1) 会員向け広報活動

会員へは、ホームページ・機関誌・メールニュース・一斉ファクシミリなどで、当会活動をはじめ経営・技術面の情報提供を随時行った。

(2) 加入促進・退会防止

総務委員会が中心となって、組織拡大のための入会勧誘活動を実施した。今期は入会 13 社、退会 18 社で 311 社（3 月末時点）となり退潮傾向に歯止めはかからなかった。来期は危機突破・組織拡大プロジェクト（仮称）が中心となり、総務委委員会と各地域、全会員が連携して組織の強化に努める。

(3) 総会・賛助会員懇談会、他

◎平成 28 年度定時総会

公益社団法人東京グラフィックサービス工業会の 2016 年度定時総会を 5 月 17 日、千代田区の日本教育会館「喜山倶楽部」において開催した。総会出席者は 198 人。

◎賛助会員懇談会

総務委員会は、東京グラフィックス賛助会員懇談会を 11 月 15 日（火）に日本教育会館「喜山倶楽部」において開催した。参加者は賛助会員・理事・委員 65 人。東京グラフィックスの事業・取り組みを賛助会員に報告し、東京グラフィックスへの理解を深めてもらうことが目的。

◎2017 年新春賀詞交歓会

公益社団法人東京グラフィックサービス工業会の 2017 年新春賀詞交歓会を 1 月 12 日、台東区池之端の「東天紅」において開催した。参加者は 220 人。

(4) 青年部「FACE」の活動支援

東京グラフィックス青年部「FACE」の活動を支援した。青年部の活動は後述。

(5) その他、青年部・サークル・自主研究会等の活動

◎青年部「FACE」

青年部ではジャグラ青年部 SPACE-21 や印刷産業青年連絡協議会（略称・印青連）等、他団体青年部との連携を強化し、役員派遣に加え、事業の共催、情報共有を積極的に進めた。

FACE 独自には毎月 1 回の定例会を軸に活動をした。平成 28 年 4 月 14 日（木）にニッケイビルにおいて平成 27 年度第 6 期定時総会を開催した。

4 月 23 日（土）にキャノン S タワーにおいて SPACE-21 東京総会を開催した。地元青年部として FACE が主管し、企画・運営をした。全国青年部から 50 人（内 FACE から 15 人）が参加した。

5 月 14 日（土）にスクワール麹町において印青連総会が開催され、FACE からは 10 人が参加した。

7 月 14 日（土）に千葉県九十九里浜において、共済会と共催で地曳網大会を開催し FACE から会員、家族等が 20 人参加した。

8 月 20 日（土）、印青連主催の移動サロンに FACE から 10 人が参加した。（株）大久保戸田営業所、

(株)善新堂、(株)ウエマツ戸田工場の3事業所を見学した。

SPACE-21 幹事会企画として、9月2日（金）に秋田のくまがい印刷(株)（ジャグラ秋田）の見学会に参加した。

10月28日（金）にニッケイビルにおいて、女性の会レインボウと共催で「drupa から探る未来の印刷動向」セミナーを開催した。講師はJAGAT 専務理事の郡司秀明氏。参加者は20人。

11月12日（土）に金沢商工会議所においてSPACE-21 全国協議会石川大会が開催され、FACE から10人が参加した。

11月16日（水）～17日（木）に千代田アートスペースにおいて印青連主催の印刷博覧会にFACEとしてブース出展した。

平成29年1月28日（土）にSPACE-21 幹事会企画として、大阪のTOP印刷(株)（ジャグラ大阪）を見学しFACEから5人が参加した。

◎女性の会レインボウ

レインボウは会の事業に加え、東京グラフィックス本部、FACEなどと連携し、事業を推進した。

平成28年3月30日（水）、銀座・豊において平成28年度総会を開き、新会長として中村真樹子氏を選出した。参加者は来賓含め10人。

10月28日（金）にニッケイビルにおいて、FACEと共催で「drupa から探る未来の印刷動向」セミナーを開催した。講師はJAGAT 専務理事の郡司秀明氏。参加者は20人。

◎市場開拓自主研究会

研究会では月1回の会合を中心に、市場開拓のための研究や商品開発を行った。会合場所の準備・運営等について富士ゼロックス東京(株)（賛助会員）に対し協力を仰いだ。前期からの継続事業として、ウェアラブル端末（メガネタイプ）のアプリ開発と研究に注力した。同端末については、新規に最新バージョンのものを購入し、購入時現在のIT環境に合わせた検証を行った。また前々期にビジネスアイデアコンテストで第1位を受賞した「POP UP・AR 名刺」に関して、デザイン・コンテンツをリニューアルしバージョンアップを検討した。会として新宿関連協の新宿区産業観光フェアに関して運営に参画し、ブース内でこれまでの商品（POPUP名刺、古地図等）をPRした。

◎自主研究会「社長講座」

東京グラフィックス自主研究会「社長講座」は会員有志の自主的な勉強会として、経営問題だけでなく、文化・芸術など多彩なテーマでセミナー・研修会を開催し、セミナーは会員や一般都民にも開放している。

■「決定版！今さら聞けない補助金活用の秘訣」

- ・12月7日／ニッケイビル／受講15人（内「社長講座」から7人）／社長講座・教育委員会 共催
- ・講師：岩永武大氏（株GIMS・パートナーコンサルタント）

■「チャレンジ1億円！プロジェクト」

売上アップの取り組みを通じて、参加企業が再び自信を持てるようにすることを目的に、勉強会（第3期として、平成27年12月～28年5月）を定期開催した。講師は山下潤一郎氏（Brighter Later）が務め、講師のレクチャー、参加者のディスカッション、課題（宿題）の作成と発表を中心に、ゼミ形式で研究を進めた。プロジェクト参加は、社長講座メンバーを中心に8社。

以上